

2016 東京国際包装展 TOKYO PACK 2016 活動報告

技術士包装物流会事業部会 坂巻

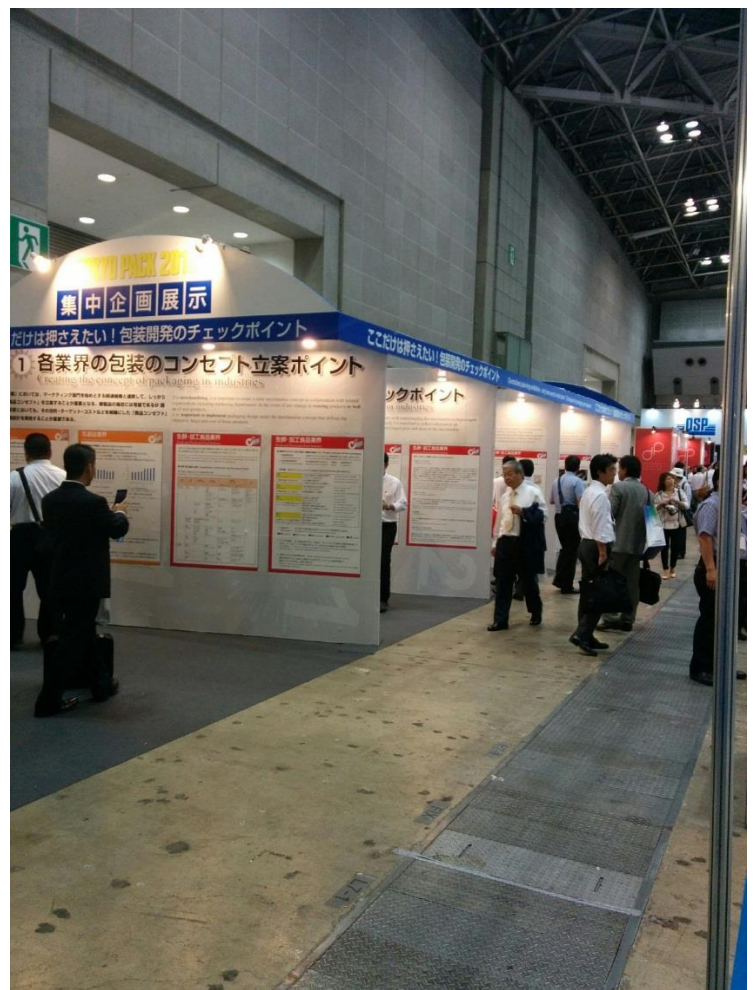
- 1、開催日時 2016年10月4日～7日
- 2、開催場所 東京ビッグサイト東全ホール
- 3、活動内容

東京パックでは技術士包装物流会は主催者JPI側として、JPI次の2つのイベントを他の包装関連団体（包装専士会、包装管理士会、日本包装コンサルタント協会）と共催し担当した。

一つは集中展示企画の「ここだけは押えたい！包装開発のチェックポイント！」の生鮮・加工食品業界のパネルを作成し①包装コンセプト、立案ポイント②包装設計のチェックポイント、③包装ラインのポイント等不可欠なポイントをわかり易く説明した。また包装開発のチェックポイントを作成し来訪者に提供した。

二つめは包装相談所（Q&A）の相談員を派遣。合計4日のうち2日を当会で担当した。当会のブースでは、技術士、当会の紹介、50周年の年表パネルを展示した。またメイン展示として、当会の西技術士らが推進している “災害緊急救援物資の梱包外装に施す「色彩分別法」提案”に関する展示を行った。技術士を目指す方や、色彩分別法に興味を持たれた方に訪問頂いた。





<色彩分別法パ〇札>

何が何処にあるか すぐ分かりますか

Can You Find What You Should Pick-Up?



3・11時に開設された岩手県内陸部の一時集積所

(Photo by KOBUNSHA Co.,Ltd.)

An inland Depot in Iwate Prefecture.

(Taken at The 3・11 Higashi-Nihon Earthquake and Tsunami of 3rd March 2011)

災害緊急救援物資

梱包外装に施す

「色彩分別法」提案

Proposal on Color Coding System

On Outside of Packages of First

Aid Materials for Disasters.

提案者/Proposer: 技術士包装物流
会大災害に対応するロジスティク
ス研究会」

Japan Packaging & Logistics Consultants Society (JPLCS)

=Study Team on Logistics of First Aid Materials at Disasters=

取組の経過

2012年 東京国際包装展で第一次出展

2014年 東京国際包装展で第二次出展・セミナー開催

2016年 国内公的機関・防災部門へのプレゼン

内閣府 国土交通省 神奈川県(東京都)等

日本赤十字社 (国際、国内)

2016年 東京国際包装展で第三次



Our Activities since 2012

Exhibited in 2012 TOKYO PACK (First Stage)

Exhibited in 2014 TOKYO PACK (Second Stage)

Presented for Governmental & Municipality Agency
at Disaster Prevention Department.

2016 Cabinet Board,

MLIT (Ministry of Land, Infrastructure, Transport & Tourism)

Kanagawa Prefecture, (Tokyo Metro.Gov.)

Japan Red Cross (International/Domestic)

Exhibiting in 2016 TOKYO PACK (Third Stage)

「色彩分別法システム」の骨子

狙い：発災後 2 週間以内の

緊急救援物資の迅速な流通を確実にする。

手法：緊急救援物資を 7 大分類し、

梱包外面に割り当てた色彩表示を行い、

国際流通を円滑にするピクトグラムを併用。

運用を含めた全体像を規格化し、内外での

普及により大災害時の緊急救援物資の円滑

なロジスティクスを確実なものとする。

もって、規格化して内外に普及させる。

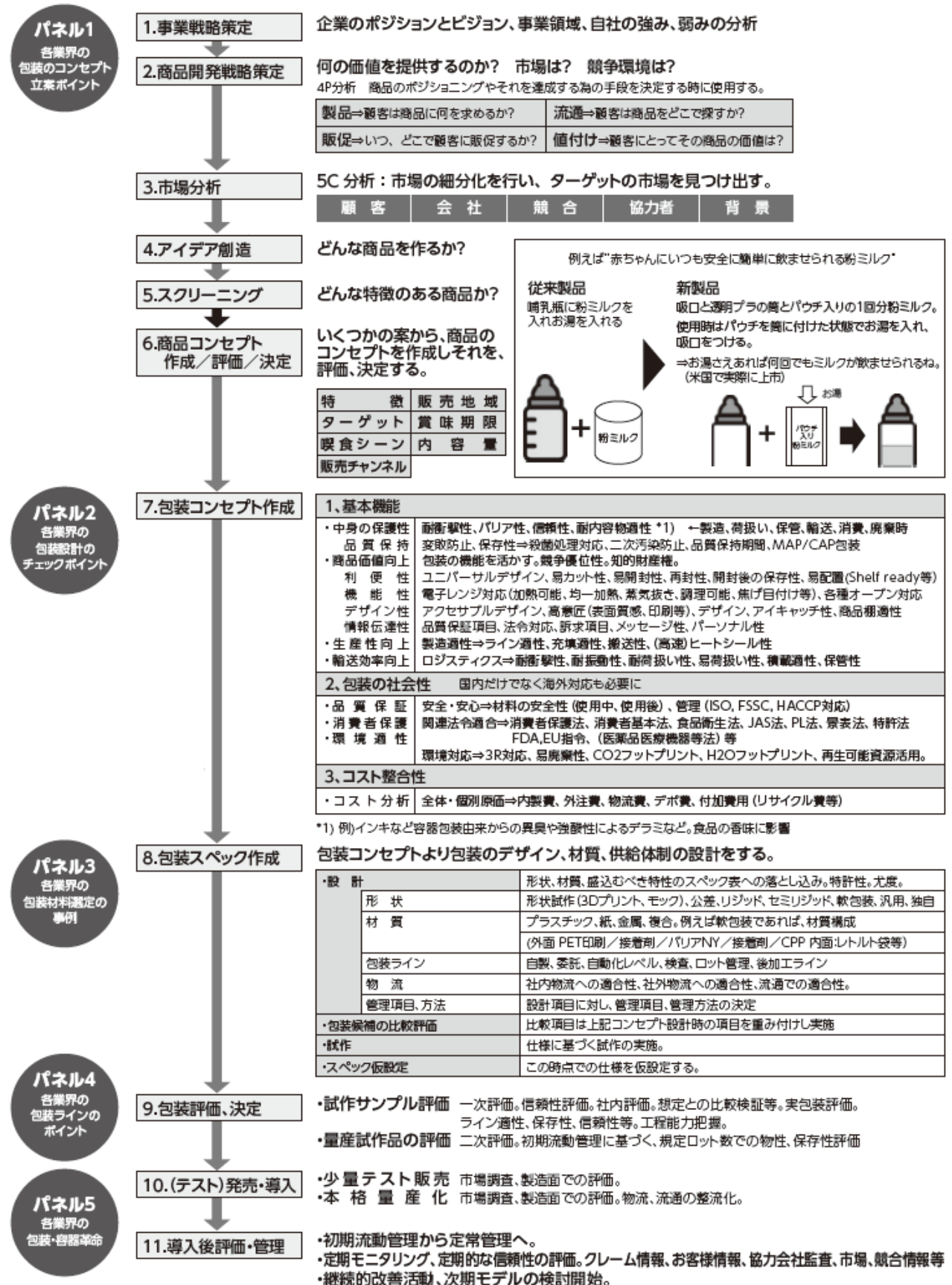
Key Function of “Color Coding System”

Aims: This aims to certain avoiding obstacles in logistics of First Aid Materials (FAM) during period of first two (2) weeks beginning from an attack of disaster.

Method: FAMs should be grouped by seven (7) and allotted the color for each one of them. Pictogram should be applied to understand the item inside. Whole related issues are systematically written as the manual and should be authorized as an internationally.

<ここだけは押えたい！包装開発のチェックポイント（食品、日用品向け）>

ここだけは押えたい！包装開発のチェックポイント（食品、日用品向け）



開発フローは以上ですが、都度工程内でのやり直し、修正等工程の戻り等が出てきます。またプロセス自体の見直しも必要になります。PDCAをまわして、フローを自社に合った形で見直す事も大事になります。

コピーライト:日本包装技術協会、技術士包装物流会